

# 操作方法

## 1. パワーONの時

EVCによる過給圧の制御を行うことができます。



- (1) イグニッションをONにすると、パワースイッチが赤く光ります。
  - ・パワーONの時は、ボリュームのマーカ―(三角マーク)も緑に光ります。
- (2) ボリュームを押して操作可能な状態にします。
- (3) ボリュームを回して過給圧を設定してください。
  - ・ボリュームを左いっぱいまで回した状態では、ノーマル過給圧となります。
  - ・過給圧を設定した後は、不用意なボリューム操作を防ぐため、ボリュームを押し込んでおいてください。

## ⚠ 注意

- EVC EZで過給圧の設定を行う際は、必ずお手持ちの連成計で過給圧を確認してください。過給圧を上げすぎると、エンジン・タービンを破損する恐れがあります。

## 2. パワーOFFの時

ボリュームの位置に関わらず、ノーマル過給圧になります。



- (1) イグニッションをONにすると、パワースイッチが緑に光ります。
  - ・パワーOFFのときは、ボリュームのマーカ―(三角マーク)は光りません。

### 参考

- ・下記のような諸事情により過給圧が安定しない場合がありますが、EVC EZが原因によるものではありません。
  - (a) ウエストゲートバルブの面積やストローク不足、アクチュエータの特性による過給圧の上昇・下降。
  - (b) タービンの風量がエンジン排気量に比べ不足していたり、排気圧力上昇による過給圧の上昇・下降。
- ・従って、取付け前の車両の状態・仕様をよく把握したうえで、過給圧の設定を行ってください。
- ・シーケンシャルターボ車の場合、機構上プライマリ側のみ作動時の過給圧は設定値どおりにならない場合があります。
- ・アクチュエータのセット荷重(バネの力)が低い車両は、機構上ブーストのタレが発生する可能性があります。

# オプションパーツリスト

本製品には、下記のようなオプションパーツが準備されています。必要に応じて、ご利用ください。

番号	コードNo.	品名	備考
1	4599-RA008	ポペットバルブ車用ホースセット	ポペットバルブ車取付け時に必要
2	4599-RA009	ツインターボ車用ホースセット	ツインターボ車取付け時に必要
3	4599-RA010	4φホースセット	4φホース配管車両取付け時に必要
4	4599-RA011	シングバルブ車用ホースセット	シングバルブ車取付け時に必要 (標準添付品)
5	90461-006100	6φホース	1m
6	90360-002100	ゴムキャップ6φ	

## 維持・管理

### 注意

- ユーザマニュアルに記載されている事項以外は、専門業者に依頼してください。
- エアフィルタの汚れがひどい場合はエアフィルタの交換を専門業者に依頼してください。  
汚れてエアフィルタが詰まっていると制御ができなくなり、エンジン・タービンを破損する恐れがあります。
- 快適に運転していただくために、必ず日常点検を行ってください。
- 汚れやオイルのついた手で本製品に触れないでください。  
ケースが変色する恐れがあります。
- 本製品を清掃する際には、アルコール・シンナ・ベンジン・ガラスクリーナー・石油類及び各種溶剤等を使用しないでください。  
汚れた場合は、乾いた柔らかい布等で軽く清掃してください。
- エアフィルタが極端に早く汚れる場合は、車両側のホース取出し口を変更してください。
- 取出し口を変更しても、エアフィルタの汚れがひどい場合は車両側に問題がある恐れがあります。  
点検・整備を専門業者に依頼してください。

# 故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配線・配管等の確認をしてください。

症 状	原 因	確認事項・対処方法
電源が入らない	電源線が接続されていない	エレクトロタップを確実に噛み込ませる
	アース線が接続されていない	接続箇所の塗装・サビを除去する
過給圧が安定しない 過給圧が設定値まで上がらない	配管ミス	配管を確認する
	アクチュエータの特性 ウエストゲートバルブの面積や ストロークの不足 タービンの容量不足	取付け前の車両の特性を把握した上で取付ける、設定可能範囲内で再度設定する
	プライマリタービンしか作動していない	セカンダリタービンが作動する条件で走行する
	配管ミス	配管を確認する
過給圧制御不能	ホースの抜け・割れ	ホースを確実に固定する、又は交換する
	エアフィルタが詰まっている	エアフィルタを交換する
	排気バイパス選択スイッチの設定ミス	車両に合った排気バイパスタイプに設定する

# 異常・故障時の対応

## 警告

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店、又は(株)エッチ・ケー・エス各営業所・お客様相談室に問い合わせてください。  
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

## 注意

- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
  - 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- 故障の際は、保証書に必要事項が記入・捺印されていることを確認し、保証書に症状を記入のうえ、修理を依頼してください。

## 保証について

本製品は別紙の「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みいただき、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることを確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。記入もれがありますと、保証期間中でも有償となります。

### ■販売店様へ

本製品は別紙の「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、販売日・貴店名・住所を記入・捺印のうえ、お客様に渡してください。記入もれがありますと、保証期間中でも有償となります。

保証期間：お買い上げ日より1年間

## アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせ、及びオプションパーツ・消耗部品・紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店又は(株)エッチ・ケー・エス各営業所・お客様相談室にお問い合わせください。

## 譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのためにこの取扱説明書と、保証書等と一緒にお渡しください。

本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。このとき、専門業者に取扱説明書をお渡しください。

### 注意

- 本製品を取外した後、車両側の線は必ずテープ等で絶縁してください。  
ショートによって電装部品を破損・焼損する恐れがあります。

## 本製品の仕様

- 作動電圧……………DC10～16V
- 制御可能圧力……………ノーマル過給圧～2.50×100 kPa
- 動作可能温度 コントロールユニット……………－10～70℃  
バルブ……………－30～80℃
- 最大消費電力……………6.9W

## 用語の説明

過給圧制御ソレノイドバルブ	：ノーマルの過給圧制御装置
高温になる場所	：温度上昇の高いところ。 例、直射日光の当たる場所・ヒーターの吹き出し口・エキゾーストマニホールドの近く等。
コードNo.	：HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。
誤使用	：加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。
整備書	：メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
専門業者	：お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
点検・整備	：本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。
電装部品	：車両の電気・電子部品。
日常点検	：自動車を運行する人が、行う点検。日常点検及び点検項目はユーザーマニュアルに従って作業を行ってください。
ノーマル車両	：車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことの無い、以上の条件を満たす車両。
メーカー	：車両の製造メーカー。
ユーザーマニュアル	：お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
ECU	：車両のエンジンコントロールユニット。
IG線	：イグニッションスイッチ“ON”時に約12V出力する車両の線。
(P#1)	：P#1は、パーツリストに記載されているパーツの連番。

## 改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	1998/7	初版
3-1.02	1998/10	仕様変更に伴う修正
3-1.03	1999/10	SI単位系移行に伴う修正